

# 石部南学区 まちづくり協議会広報

平成22年10月15日発行

第11号

広報部

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南省市石部南 3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

**10月3日(日)石部南学区の「防災訓練」が石部南小学校グラウンドで開かれました。参加者150余名が通報訓練、救護訓練（簡易担架作り）、消火訓練、放水訓練、炊き出し訓練を経験。また、多くの方が起震車で各種の震度を体験して、地震の恐ろしさと避難、防災の大切さを新たにしました。**



訓練開始宣言する市川会長



湖南省中央消防署亀田署長



湖南省第5分団山本分団長



市議会議員、校長、アドバイザーのみなさん



放水訓練



消火訓練



救護訓練



簡易担架作り



炊き出し訓練



参加者全員で集合



起震車による地震の体験中

**できることから地震対策！！ ～備えれば地震はコワクナイ～**



# まちづくり協議会各部会の活動報告

## 地産地消部会

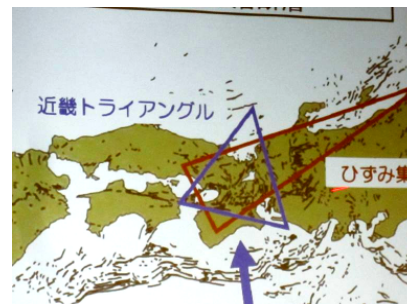
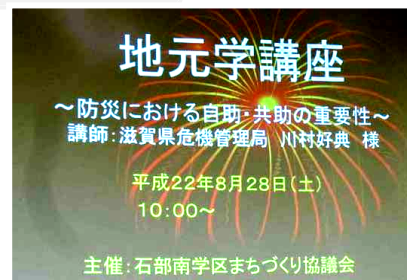


8月21日(土)宮の森と宝来坂の  
夏祭りでの野菜の直売風景

## 人づくり部会



8月28日(土)石部南まちづくりセンターで、防災意識を高めるための防災教育が行われました。滋賀県の防災危機管理局より川村氏をお招きして、滋賀県で今後起こりうる地震のことや、災害に備えて自助・共助の大切さについて講演がありました。多数の方が参加されました。



## 各自治会便り

11月は「声かけ・あいさつ運動」強化月間です。  
みんなで参加しましょう！

## 8月は各地区で夏祭りが開かれました

夏祭りと地蔵盆が8月後半に各地区で行われました。たるみこしが出たり、夜にはちょうちんの灯りのもとで、大人も子供も模擬店を見て回り、舞台での演技を楽しみました。石部太鼓保存会も各地区での出演で大忙しでした。

### 宝来坂区



### 宮の森区





## 東寺区

10月3日(日) 東寺グランドで第43回レクリエーション大会を開催しました。5組編成で約250人の参加があり、トラック種目(5)、フィールド種目(4)で熱戦が繰ひろげられ、4年連続で3組が総合優勝しました。(組対抗リレー:3組優勝)



## 宝来坂区

### 交通安全運動

秋の交通安全運動に合わせて、石部中学校と石部高校の通学路、団地の主要道路に20本のノボリを立てて、安全を呼びかけました。



## 各区で敬老会

毎年恒例の敬老の行事が各地区で行われました。それぞれの区で各種の催し物が行われ、招待された人たちは楽しいひと時を過ごしました。



宝来坂区



西寺・丸山区



宮の森区



東寺区





## 地域のトピックス

### 消防（ポンプ操法大会）

8月1日（日）、滋賀県消防学校で第45回滋賀県消防操法訓練大会が開催され、石部南学区の消防団第5分団が出場しました。猛暑にもかかわらず日頃の練習の成果を発揮することができました。



### シニアソフト滋賀・湖南大会に出場

8月28日（土）、第16回日本シニアソフトボール大会が、野洲川親水公園グランドで行われました。宝来坂チーム（IV.V.VIクラブ）が出場しましたが、残念ながら予選敗退となりました。



### 湖南市民スポーツカーニバル

9月26日（日）、秋晴れのもと野洲川親水公園にて、湖南市民スポーツカーニバルが開催されました。石部南学区からは、宮の森、石部南、西寺・丸山、宝来坂の4つの区が参加、31の区で熱戦を繰り広げました。



## 米づくり体験学習(稲刈り)

10月1日(金)、午前中は石部小学校、午後は石部南小学校の体験圃場で5年生による米づくり体験学習が行われました。春に自分達で植えた餅米です。鎌の使い方、稲藁のくくり方、足踏式脱穀機による脱穀の仕方等を学び、泥だらけになりながら慣れない手つきで稲刈りに熱中していました。指導は、ふれあい農業いしべ21協議会のメンバーが行いました。



## 今から ご予定ください 開催予定！ 石部南学区ふれあい祭り

主催：石部南学区まちづくり協議会（ふれあい祭り実行委員会）

日時：**平成22年11月7日（日）** 9時30分～15時（雨天決行）

場所：石部南まちづくりセンター（石部南3丁目5-1）

内容：◆展示コーナー 各自治会、サークル、幼稚園、保育園、学校関係、一般、他

◆体験コーナー パソコン、天体望遠鏡、健康チェック、竹細工

◆イベントコーナー 子供ダンス、太極拳、カラオケ、よし笛、ギター演奏  
民謡、

◆スポーツコーナー 自治会対抗グランドゴルフ大会

◆模擬店コーナー たこ焼き、焼きそば、うどん、フランクフルト、他

◆フリーマーケット 地元野菜、加工品、喫茶、雑貨、他

◆その他 スナップ写真撮影サービス

（内容は一部変更になる可能性があります）







#### ◆天平浪漫（紫香楽宮と石部金山<sup>(かなやま)</sup>）（その2）

この金山<sup>(かなやま)</sup>からは、金銀銅鉄などが採掘されたとある。紫香楽宮の創立の為には貴重な資材のある石部金山<sup>(かなやま)</sup>であった。常楽寺の縁起看板にも記されているが「良弁僧正は聖武天皇の勅令をうけられ本尊観世音に祈って金銀の宝脈を授かったので天皇はいたくお喜びになり、三国一の金銀生ける山々紫香楽宮大仏造営の吉祥として勅願所とされた」とある。石部金山<sup>(かなやま)</sup>は、阿星寺が良弁僧正が中心となって造営を進められた頃から金銀銅の採掘が盛んであったと伝えられている。かなり、古い時代から銅の採掘が行われたのではないかと。野洲市の大岩山で明治14年に14個の銅鐸が発見され、その後名神高速道路の工事現場から昭和37年に10個の銅鐸が掘り出された。これらの銅鐸の銅は石部金山<sup>(かなやま)</sup>より産出された鉱物であろうと伝えられている。

この頃の技術等は韓の国から海を渡って入って来たようであり、奈良時代のこの頃から採掘方法も進歩し、わが国でも多く産出できていた。和銅元年（707年）7月（1300年前）に銅銭の铸造が開始され和銅8年（715年）に近江の国で銅銭を鍛造したとあり、これも石部金山<sup>(かなやま)</sup>で採掘された銅であろうと、伝えられている。

又、西寺地先にも同じような鉱脈があり阿星山頂より少し下がった所に高嶽という山があり、その下の千が谷等でも鉄等の鉱物が採掘されていた。横穴が何箇所か有り、戦後も掘り出されていた思い出がある。阿星山から高嶽―千が谷―西寺―天狗山―灰山と、一本の線で岩盤層でなし、色々の鉱物が埋蔵されているようである。（他に錫や砥石、硯石、陶土等）何年か前にこの金山を史跡として保存すべきではないかと町に申し入れたが、この山が個人所有のものであるので史跡保存は無理であるとされた。しかし、埋蔵文化財として、図面調査はなされ、資料として残されている。又、町内に金屋と地名が残っている所があるが戦後までこのあたり一体に赤さびた岩がごろごろと一面ころがっていたといわれている。精錬所跡であったようである。

他に、西寺地先に経塚山という山が集落の中にあり経を埋納されたと伝えにあるがこの山にも黄銅鉱があると記録されている。石部金山<sup>(かなやま)</sup>から運ばれたであろう金も大仏造立には役たなかったが、石部地さきからは多くの鉱物が掘り出され、紫香楽宮の創立には大きな結びつきを果たしたのである。又、その他に甲賀寺や大仏殿の建立などにかかせない基礎作りである。これにも大きな役割を果たした。それは石灰で基礎を固める（漆喰）土台である。この石灰も石部から運ばれたものである。天狗谷の北側の狭小な部分に石灰岩が見られここから石灰岩が採掘され石灰として宮造営に貴重な資材として運び入れられたのである。石灰の起源は伝承ではあるが崇峻天皇元年（588年）1419年前の頃、百濟より来朝し、石灰を焼いたのが始まりであるとあり、近江の国で焼いた、とある。（伊吹山や石部ではないかと伝えられている）古き時代から石部地域で石灰岩が採掘され紫香楽宮造営に無くてはならない必要な資材が鉱物・石灰と、阿星山を越えたのである。

2007 夏（次号へつづく）